

平成27年度9月補正予算案

I 規模

一般会計	25億8,510万円
特別会計	9億5,298万円
総額	35億3,808万円

II 補正予算案の概要

1 一般会計補正予算案 25億8,510万円

(1) 公共事業関連（国の内示増によるもの） 23億9,120万円

ア 道路・街路事業 16億366万円

物流機能の強化や渋滞解消を図るため、道路・街路の整備（戸畑枝光線ほか3路線）に要する経費を計上するもの。

イ 河川改修事業 5億2,014万円

浸水対策を推進するため、河道掘削や護岸整備等（紫川ほか3河川）に要する経費を計上するもの。

ウ 公園整備事業 2億6,740万円

災害時の避難地など公園機能の拡充を図るため、公園のグラウンドや駐車場の整備等（金剛中央公園ほか2公園）に要する経費を計上するもの。

(2) 「地方創生先行型交付金（上乗せ交付分）」関連事業

1億1,500万円

国の平成26年度補正予算において創設された「地方創生先行型交付金」の上乗せ交付分を活用し、地方創生に資する事業を先行的に実施するもの。

ア 世界遺産推進経費 7,500万円

官営八幡製鐵所関連施設がユネスコ世界文化遺産に登録されたことを受け、本市来訪者に対する受入体制強化（誘導サイン設置や紹介映像の制作など）や市外からの観光客誘致促進等に要する経費を計上するもの。

イ 北九州市版CCRCモデル検討事業 2,000万円

日本版CCRC構想有識者会議の検討状況等を踏まえ、支援内容の検討、移住者のニーズ調査等を行う等、「北九州市版CCRC」モデルの検討に要する経費を計上するもの。

※CCRCとは、「Continuing Care Retirement Community」の略で、米国では、高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体（CCRC）が約2,000か所存在している。

ウ 次世代産業クラスター（エコシステム）構築事業 2,000万円

本市の成長分野であるエネルギー等の分野において、次世代産業クラスター（エコシステム）を構築するため、水素供給ビジネスモデルの検証、バイオマス・洋上風力発電を含む地域エネルギーマネジメントの事業化に向けた検討調査等に要する経費を計上するもの。

(3) その他 7,890万円

ア 世界遺産関連施設リフレッシュ事業 1,200万円

世界遺産関連施設である「東田第一高炉跡」（市指定文化財）について、ライトアップ設備のLED化や老朽箇所の点検・修繕等に要する経費を計上するもの。

イ 高倉健メモリアルイベント開催事業 1,000万円

平成26年11月に亡くなった本市ゆかりの映画俳優・高倉健氏の業績を偲ぶイベント（映画上映やトークステージなど）の開催に要する経費を計上するもの。

ウ G7北九州エネルギー大臣会合開催準備事業 2,500万円

平成28年5月1日、2日に開催される「G7北九州エネルギー大臣会合」に向け、エネルギーに関する先進的な取組みをPRするための映像コンテンツの作成等開催準備に要する経費を計上するもの。

エ（仮称）地域エネルギー会社整備推進事業 2,400万円

市内への低炭素で安定・安価なエネルギー供給を実現するため、（仮称）地域エネルギー会社の設立に要する経費を計上するもの。

オ 公用車における燃料電池自動車導入事業 790万円

市民や市内企業の燃料電池自動車に対する認知度向上および普及促進を図るため、寄付金等を活用して、公用車に燃料電池自動車を導入する経費を計上するもの。

2 特別会計補正予算案

9億5,298万円

介護保険特別会計

9億5,298万円

平成26年度決算に伴う国・県等への返還金及び介護給付準備基金への積立金に要する経費を計上するもの。